

育成 モノづくり人材 Vol. 91

佐世保工業高等専門学校

1962年に国立高等専門学校の第1期校で、任制を採用しており、5年生まで同一クラス

として九州で初めて設立され、之を世保工業高等専門学校と名づけ、原田金蔵別々に学生で学ぶ。

等専門学校。クラス担任体の組織運営を展開する。実践的な研究教育

機関として、自立や自律精神を育み、世界を

くりかえし L. 91

ノブ
沙代

相手にできる人材育成を図る。ま

工学全般の知識やスキルを身につけた「トッ

育
フカン級

——
——
——

相手にでかける人材育成を目指している。また工学全般の知識やスキルを身につけた「トッピガン級」（東田賢二校長）の人材を輩出する九州沖縄地区の中などは現代数学の分野心的役割を担つてい

のアプローチで独自色を出す。専攻科で機械や電気電子など専門分野を学ぶと同時に数理系科目の教育にも重きを置く。東田校長は「情報」の価値が高まるところ予想。そこで新たに発想による新たなシ

になる」とみる。

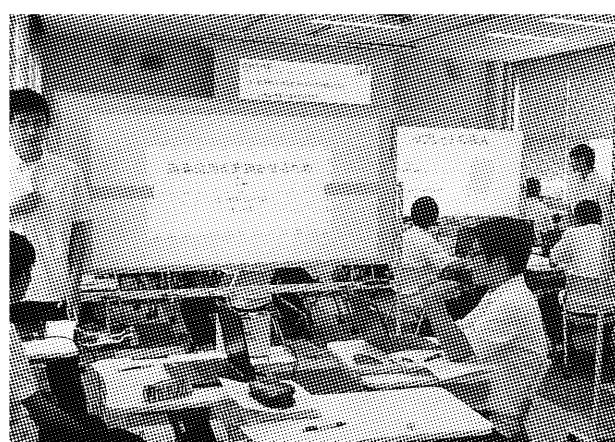
背景には日本のモノづくりが壁にぶつかっているという認識がある。今後は産業現場のリティ人材育成事業を展開する。同事業では九州沖縄地区的拠点として全国5高専の

次代見据え情報分野磨く

原則全寮制で学生主体の組織運営を展開する。実践的な研究教育機関として、自立や自律精神を育み、世界を開拓。全国の高専で唯一同校の特徴が数理情報分野の強化だ。16年度から「産業数理技術者育成プログラム」を開設。全国の高専で唯一

東田校長

【DATA】▷校長=東田賢二氏
▷所在地=長崎県佐世保市▷学科構成=〈本科〉機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、物質工学科 〈専攻科〉複合工学専攻
▷学生数=本科855人、専攻科56人▷主要設備=大型無響水槽、プラズマ成膜装置、核磁気共鳴装置、デジタルサイネージシステムなど▷主な進路=トヨタ自動車、パナソニック、武田薬品工業、東京工業大学、九州大学など



情報セキュリティ教育では学生が能動的に学ぶアクティブラーニングを取り入れている

や地場企業を知る機会を創出している。地方高専として地域の貢献の役割も果たす。小中学校や自治体などからの要望を受けて実施する出前授業は例年40~50回。地域のアメリカンスクールとの交流も盛ん。佐世保には米海軍基地があり、国際的な土地柄を生かしていく。同スクールを訪問して「おもしろ実験」と題した科学実験を披露。そこでは英語で伝えることが使命で、学生は苦労しながらヨーロッパ・コミュニケーションを学び、世界を相手にできる人材へと成長する。(西部・増重直樹)(金曜日に掲載)

と題した科学実験を披露。そこでは英語で伝えることが使命で、学生は 英語しながら ユニケーションを学び、世界を相手にできる人材へと成長する。

(西部・増量直樹)

(金曜日に掲載)

や地場企業を知る機会を創出している。地方高専として地域貢献の役割も果たす。小中学校や自治体などの要望を受けて実施する出前授業は例年40回。地域のアメリカンスクールとの交流も盛ん。佐世保には米海軍基地があり、国際的な土地柄を生かしていく。同スクールを訪問して「おもしろ実験」

無断転載・複写禁止 (株)日刊工業新聞社